



岩波新書

好評
既刊

人類は何を学ぶべきなのか

コロナ後の世界を生きる

村上陽一郎編

— 私たちの提言 —

新型コロナウイルスのパンデミックをうけて、私たちはどのような時代に突入するのか。私たちを待ち受けているのは、いかなる世界なのか。コロナ禍によって照らしだされた社会の現実、その深層にある課題など、いま何を考えるべきなのか。コロナ後の世界を生き抜くための指針を、各界の第一人者二四名が提言する緊急出版。

978-4-00-431810-8 本体6000円

目次

I 危機の時代を見据える

藤原辰史／北原和夫／高山義治／黒木登志夫／村上陽一郎

II パンデミックに向き合う

飯島 渉／ヤマザキマリ／多和田 葉子／ロバート キャンベル／根本美作子

III コロナ禍と日本社会

御厨 貴／阿部 彩／秋山正子／山口 香／隈 研吾

IV コロナ禍のその先へ

最上敏樹／出口治明／末本文美士
石井美保／酒井隆史／杉田 敦／
薬谷浩介／内橋克人／マーガレット・アトウッド

ペスト大流行

ヨーロッパ
中世の崩壊

村上陽一郎

10万部
突破

かつてペストの大流行は三千万の人命を奪った。医学から神学まで、社会を揺るがす大パニックの実態。

400-420256 本体7600円



感染症と文明

— 共生への道 —

山本太郎

4.5万部
突破

関いは悲劇の準備にすぎないかもしれない。文明発祥以来、社会が作り上げてきた流行の諸相を描き出す。

978-4-00-433314-4 本体7200円

